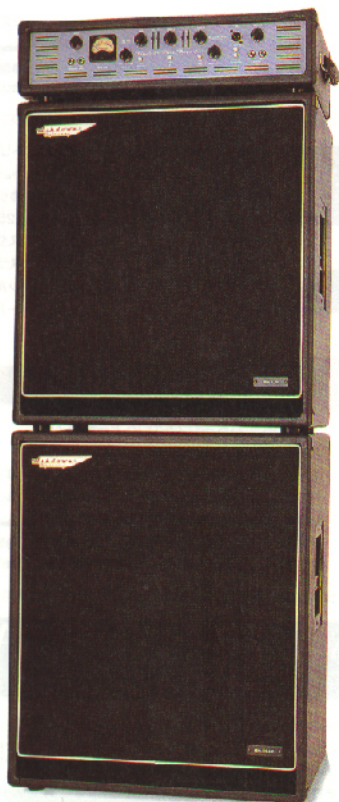


PRODUCTS

ASHDOWN ENGINEERING ¥280,000 KLYSTRON BASS MAGNIFIER AKBM800

●コントロール・インプット・セレクター、インプット・ミックス・ベース、ミドル・トレブル、レヴェル、アウトプット・ミューン、アウトプット・セレクター、巻●サイズ:600(W)×183(H)×335(D)mm●重量:26kg

充実のEQセクションと
オンボード・ハーモニザイザーを
備えた新型アンプ・ヘッド



針式のVUメーターを設けるなど、レトロな音響機器を彷彿とさせるルックスを持つヘッド、AKBM800。このASHDOWN ENGINEERINGとは、トレース・エリオットに在籍しながら、スペシャリストとして12年間手腕を発揮したマーク・グッティ氏が起こした新メーカーとのこと。彼はベース・アンプ製作に関して、さまざまなノウハウを持つ人物だけに、多くのベーシストがこの新天地での仕事ぶりに期待していることだろう。

実際に使って印象に残ることは、シンプルかつ的確な音作りを実現するイコライザー構成である。オーソドックスなベース、ミドル、トレブルというトーン・コントロールのほか、グラフィック・タイプも兼ね備えるのだが、注目したいのはそのグライコのポイント設定。180/340/1.3k/2.6k(Hz)の4バンドしかないにもかかわらず、実にツボを押さえており、深いサウンドに近づけるまでに時間を必要としないのだ。多くのベーシストの声を取り入れたことが功を奏して、これだけの確な絞り込みができたのだろう。また、イコライザーで中低域をブースト気味にする、軽く歪んだトーンを得ることもできる。この微妙な歪み加減はオールド・アンプのテイストに近いので、その類が好みという人には特にお勧めだ。ワンタッチでイコライザーのオン/オフを切り替えられるところも、原音と聴き比べる際に重宝するだろう。

内部回路はソリッドステイト&シングル・チューブというハイブリッド仕様。そのブレンド具合もインプット・ミックスで簡単に行なえる。そして、秘密兵器のオンボード・ハーモニザイザーも、本機を語るうえで忘れてならない機能のひとつ。効果は1オクターヴ下の音程をミックスしてくれるという単純なものだが、ふくよかな低音を再現するために威力を発揮する。ベース・アンプを知り尽くした人物が手がけたモデルだけに、仰々しいサウンドにならないところもさすがである。

LEDでなく本格的なVUメーターを配置したインプット・セクション。ベース出力に合わせたハイ/ロー端子も取付けられアクティブ/パッシブを問わず適切なレベル調整が可能。



4基のファンを搭載したリア・パネル(冷却効果は抜群)。ステレオ仕様のアウトプット、エフェクト・センド&リターン、出力とリブ・ハーモニクス・ミュートを遠隔操作するためのプット・スイッチ端子などが設けられている。サブ・ハーモニクスはフロントのサブ・イン/アウトをインにセットすると、原音の1オクターヴ下を加えたふくよかな低音を再現する。



●問い合わせ: 神田商会
☎03-3264-3647